

Web技術とリッチクライアント方式により拡張性と高レスポンスを実現した大規模酒類・食品流通業向けソリューション

市村郁雄* 南 英知*
高野謙司* 菊谷 淳**

Distribution Systems Solution for Large-scale Liquor and Food Stores

Ikuo Ichimura, Kenji Takano, Eichi Minami, Jun Kikutani

要 旨

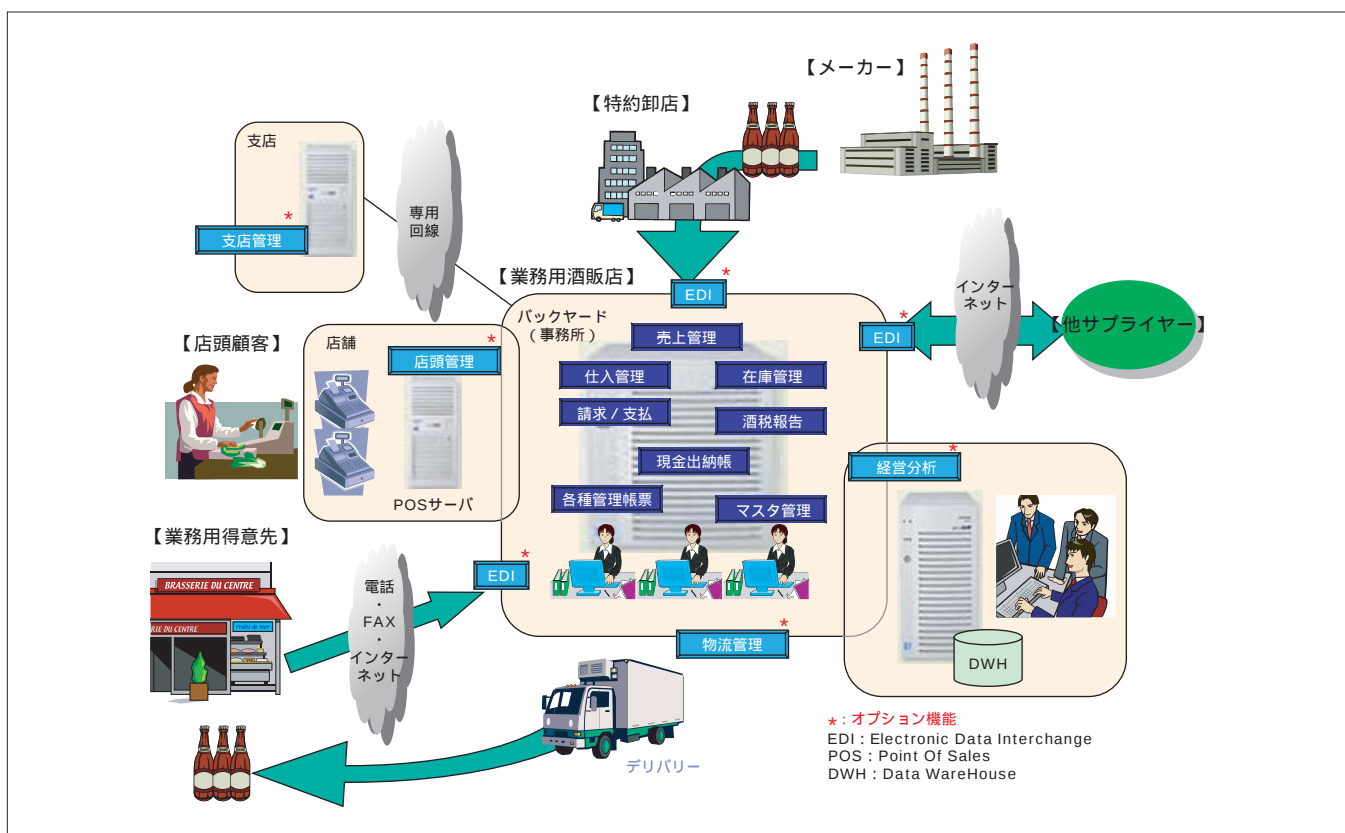
三菱電機の酒販店向けソリューションは、20年以上にわたり、お客様の基幹業務システムの構築・展開・保守サービスを一貫してトータルに提供しており、業界トップレベルの導入実績を維持している。酒類販売業界(以下“酒販業界”という。)では、酒販免許の規制緩和が進み、異業種からの参入、消費者ニーズの多様化などあらゆる局面で競争の激しさを増している。その中でも特に革新的なビジネスモデルを指向する業務用酒販店が急成長を遂げており、その経営革新に合致するスケラビリティのある基幹業務システムの刷新が求められている。

一方、IT化の波は広く個人まで普及し、ネットワークインフラの整備に加え、Javaの標準化などを背景に、Web技術を使った基幹業務システム構築が年々増加傾向にある。

しかし、酒販店の基幹業務システムのような短時間で大量の伝票入力をWebブラウザで入力する場合、そのユーザーインターフェースの脆弱(ぜいじゃく)性と応答性能の遅さから、快適・安心・発展という観点では大きな課題となっていた。

三菱電機インフォメーションシステムズ(株)(MDIS)では、基幹業務システムにリッチクライアント方式を採用することで、Web技術を用いながらも、既存システムの操作性を継承して応答性能の向上を図るとともに、3階層モデルによる柔軟性と拡張性を兼ね備えた次世代業務用酒販店システム“酒快Do(サケカイドー)”^(注1)を構築した。

(注1) 酒快Do、酒Do楽は、三菱電機インフォメーションシステムズ(株)の登録商標である。



“酒快Do”の実現機能イメージ(将来構想も含む)

次世代業務用酒販店システム酒快Doは、中大規模酒販店向けの基幹業務機能を提供し、Web技術とリッチクライアント方式を採用することで、快適な操作性と柔軟な拡張性を兼ね備え、経営革新を推進する酒販業界のニーズに対応していく。